



# Infor LN 追加情報フィールドユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

|       |                  |
|-------|------------------|
| 文書コード | UaddinfougA JA   |
| リリース  | 10.5 (10.5)      |
| 発行日   | 2017 年 12 月 21 日 |

---

# 目次

文書情報

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 第1章 概要.....             | 7  |
| 第2章 追加情報フィールドの設定.....   | 11 |
| 第3章 LN 内の追加情報フィールド..... | 15 |
| 付録A 用語集.....            | 31 |

索引

---

---

---

---

# 文書情報

## 目的

本書では、追加情報フィールドの目的と使用方法について説明します。

## 対象者

本書は、追加情報フィールドの使用方法と定義方法について学習したいユーザを対象としています。

## 前提となる知識

追加情報のフローダウンに含まれる業務プロセスを十分に把握しており、LNの機能についての一般的な知識があるユーザは、本書の内容をより良く理解できます。さらに、共通情報のトレーニングコースを受けると、有利なスタートを切ることができます。

## 文書の概要

本書の各章の内容を次の表に示します。

|       |                |                                                     |
|-------|----------------|-----------------------------------------------------|
| 第 1 章 | 概要             | 追加情報フィールドの目的と一般的な特徴について説明します。                       |
| 第 2 章 | 追加情報フィールドの設定   | 追加情報フィールドの設定について説明します。                              |
| 第 3 章 | LN 内の追加情報フィールド | 各 LN パッケージ内および各パッケージ間での追加情報フィールドの使用方法と処理方法の概要を示します。 |

## 本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。このため、マニュアルの他のセクションへの参照が次の例のように示されています。

参照先セクションに移動するには、目次を参照してください。

下線付きの語は用語集の定義へのリンクを示します。本書をオンラインで表示した場合、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動できます。下線のない参照は、用語集の定義やその他の要素にリンクされていません。

## コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

## Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル [www.infor.com/inforxtreme](http://www.infor.com/inforxtreme) をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、[documentation@infor.com](mailto:documentation@infor.com) までご連絡くださいますようお願いいたします。

## 追加情報フィールド

追加情報フィールドを定義して、LN の標準セッションにフィールドを追加することができます。標準セッションでは、追加情報フィールドの値を変更できます。

追加情報フィールドの内容は、以下のように、入庫および出庫フローのさまざまなセッション間でやり取りできます。

- プロジェクト計画済 PRP 購買オーダーから、購買オーダーを介して、倉庫管理の入庫へ
- 販売オーダーまたは販売スケジュールから、倉庫オーダーを介して、倉庫管理の出荷へ
- プロジェクト契約から、契約成果物を介して、倉庫管理の出庫オーダーラインへ

追加情報フィールドは、たとえば、契約情報や契約条項をサプライチェーンの全関係者に転送するときに使用されます。

### 追加情報フィールドの定義

追加情報フィールドは、追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションで定義されます。このセッションでは、さまざまなフィールドフォーマットのフィールドをデータベーステーブル、または、データベーステーブルと特定の販売先または購買元取引先との組み合わせにリンクできます。

[これらのデータベーステーブル] に追加情報フィールドを定義できます。

追加情報フィールドは、データベーステーブルに対応するセッションに表示されます。たとえば、追加情報フィールドを [倉庫オーダー (whinh200)] テーブルにリンクすると、対応する倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションにその追加情報フィールドが表示され、編集可能になります。

追加情報フィールドを [倉庫オーダー (whinh200)] テーブルと購買元取引先 X にリンクすると、購買元取引先 X が倉庫オーダーに指定されている場合、対応する倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションにその追加情報フィールドが表示され、編集可能になります。

### 追加情報フィールドのプロパティ

以下の追加情報フィールドが利用できます。

- 26 個の英数文字列フィールド (それぞれ長さは 30 文字)。
- 13 個の英数文字列フィールド (それぞれ長さは 20 文字)。
- 2 個の日付フィールド
- 2 個の数値フィールド
- 2 個のチェックボックス
- 1 個のテキストフィールド

テキストフィールド以外では、追加情報フィールドそれぞれに、フィールド内容を外部文書に出力する必要があるか、それとも用途は内部利用のみかを指定できます。テキストフィールドの用途は内部利用のみです。

追加情報フィールドの内容には機能ロジックが関連付けられていません。

## 追加情報フィールドの表示

フィールド長が 30 文字の 26 個の文字列フィールドは、追加情報フィールドが定義されたデータベーステーブルに対応する概要セッションおよび詳細セッションの [追加情報] タブに表示されます。

データベーステーブルに定義されたその他のフォーマットの追加情報フィールドは、追加情報フィールドが定義されたデータベーステーブルに対応するセッションから開始された拡張追加情報 (tcstl2110m000) セッションに表示されます。

拡張追加情報 (tcstl2110m000) セッションは、追加情報フィールドが存在するセッションで [拡張フィールド] をクリックすると開始されます。

### 注意

顧客定義フィールド (ttadv4591m000) セッションの [追加情報 (tcstl210)] テーブルに定義されたフィールドは、拡張追加情報 (tcstl2110m000) セッションに表示されます。

さまざまなセッションで、追加情報フィールドとその内容をリストする付属書類レポートを出力できます。

独自の追加情報フィールドを含む一部のセッションでは、他のセッションから転送された情報フィールドを取得することもできます。

たとえば、独自の追加情報フィールドを持つプロジェクトペギング購買オーダーラインは、関連契約ラインから情報フィールドを継承できます。

両方のソースから得た追加情報フィールドが競合しているか、または冗長であるかをチェックするために、相違点レポートが利用できます。詳細は、次の情報を参照してください: プロジェクトペギングされた購買伝票の追加情報 (ページ 23)。

## 追加情報の転送

データベーステーブル間で (たとえば、tppdm700 テーブル (契約成果物) から whinh220 テーブル (倉庫オーダーライン) へ) 追加情報フィールドを転送できます。転送が実行されるのは、追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションで両方のテーブルにフィールドフォーマットとフィールド名が同一の追加情報フィールドが定義されている場合のみです。

### 例

たとえば、「原価計算基準 (CAS)」という名前の文字列追加情報フィールドが契約成果物テーブルにリンクされているとします。[原価計算基準 (CAS)] フィールドの値を契約成果物から出庫オーダーラインに転送するには、同じフォーマットで同じ「原価計算基準 (CAS)」という名前のフィールドが whinh220 テーブルの追加情報定義に存在する必要があります。whinh220 テーブルは出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションに対応します。

## ビジネスオブジェクト文書の発行

Infor ION を介して LN とその他のアプリケーションを統合する場合、在庫追加情報フィールドが ShipmentOutBOD で発行されます。この ビジネスオブジェクト文書 (BOD) では、出荷、出荷ライン、または扱い単位に関連する追加情報フィールドが発行されます。これらの追加情報フィールドは、[一般] または [販売先取引先] 定義レベルから取得されます。

入庫フローの場合、追加情報フィールドは、購買オーダー BOD で発行されます。これらの追加情報フィールドは、[一般] または [購買元取引先] 定義レベルから取得されます。



### 追加情報フィールドの定義

追加情報フィールドは、追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションで定義されます。このセッションでは、さまざまなフィールドフォーマットのフィールドをデータベーステーブル、または、データベーステーブルと特定の販売先または購買元取引先との組み合わせにリンクできます。

[これらのデータベーステーブル] に追加情報フィールドを定義できます。

追加情報フィールドは、データベーステーブルに対応するセッションに表示されます。たとえば、追加情報フィールドを [倉庫オーダ (whinh200)] テーブルにリンクすると、対応する倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションにその追加情報フィールドが表示され、編集可能になります。

追加情報フィールドを [倉庫オーダ (whinh200)] テーブルと購買元取引先 X にリンクすると、購買元取引先 X が倉庫オーダに指定されている場合、対応する倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションにその追加情報フィールドが表示され、編集可能になります。

データベーステーブルの追加情報フィールドを定義するには

1. 追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションを開始します。
2. [新規] をクリックします。
3. [テーブル] フィールドで、定義する追加情報フィールドのデータベーステーブルを指定します。
4. [レベル] フィールドで、データベーステーブルと取引先の組合せの追加情報フィールドを定義する場合は、[販売先取引先] または [購買元取引先] を選択します。詳細は、次の情報を参照してください: 追加情報定義レベル (ページ 12)
5. 前のステップで [販売先取引先] または [購買元取引先] を選択した場合は、[レベル] フィールドで関連する取引先を指定します。
6. [フィールド名] フィールドで、必要に応じてフィールド名を指定します。
7. 必要に応じて、ラベルコードを選択します。
8. [フィールド名] フィールドで、選択したデータベーステーブルに対応するセッションに表示する必要があるフィールド名を指定します。
9. [有効] チェックボックスをオンにします。
10. フィールドが内部処理用で、その内容を顧客または発注先に伝えてはいけない場合は、[内部] チェックボックスをオンにします。
11. 定義する追加情報フィールドごとにステップ 6 ~ 10 を繰り返します。
12. [追加情報付属書類の追加ラベルの出力] フィールドで、付属書類レポートの追加ラベルに必要なオプションを選択します。

## 追加情報定義レベル

### 追加情報定義レベル

次の追加情報定義レベルに対して、追加情報フィールドを定義できます。

- [一般]
- [販売先取引先]
- [購買元取引先]

#### [一般]

指定されたデータベーステーブルにリンクされた追加フィールドは、対応する概要と詳細セッションに表示されます。追加情報フィールドは別々のタブにグループ化されます。詳細セッションでは、これらのフィールドの値を編集できます。

### 取引先

指定されたデータベーステーブルと選択された取引先にリンクされた追加フィールドは、次の場合に、指定されたデータベーステーブルに対応する詳細セッションに表示され、編集可能になります。

- [販売先取引先]  
販売オーダーまたは販売スケジュールが、指定されたデータベーステーブルにレコードを作成する処理を開始した
- 選択された取引先が販売オーダーまたは販売スケジュールの販売先取引先である
- [購買元取引先]  
購買伝票が、指定されたデータベーステーブルにレコードを作成する処理を開始した
- 選択された取引先が、購買伝票の購買元取引先である

たとえば、whinh200 テーブルと取引先 A に定義されている追加情報フィールドは、次の場合に、倉庫オーダーに対する倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションに表示されます。

- 倉庫オーダーの発生元オーダーが販売オーダーまたは販売スケジュールである
- 取引先 A が販売オーダーまたは販売スケジュールの販売先取引先である

#### [一般] と [販売先取引先] / [購買元取引先] を組み合わせた関連フィールド

特定のセッションに対応するデータベーステーブルの追加情報フィールドを取得するとき、[販売先取引先] または [購買元取引先] 定義レベルが選択されます。存在しない場合は、[一般] 定義レベルが選択されます。

この結果、[一般] 定義レベルと [販売先取引先] または [購買元取引先] 定義レベルの追加情報フィールドが特定の取引先に必要な場合、[一般] 定義レベルに定義されたフィールドはそれぞれ [販売先取引先] または [購買元取引先] 定義レベルにも定義されている必要があります。

### 例

Whinh200 データベーステーブルは倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションに対応します。

すべての取引先に定義されている一般の追加フィールドに加えて、取引先 A も追加フィールドが必要です。これを行うには、[一般] 定義レベルに定義されたフィールドは、取引先 A の [販売先 取引先] 定義レベルにも定義される必要があります。

whinh200 レベル = 一般 所要取引先 A

whinh200 レベル = 取引先 A

|        |          |          |
|--------|----------|----------|
| 顧客名    | 会計係      | 顧客名      |
| 顧客保管場所 | コンテナ参照 A | 顧客保管場所   |
|        |          | 会計係      |
|        |          | コンテナ参照 A |



## 第3章 LN 内の追加情報フィールド

# 3

### プロジェクトへの追加情報フィールド

このトピックでは、追加情報フィールドをリンクできるプロジェクト内のテーブルの概要を説明します。テーブルには、追加情報フィールドに対応するセッションがリストされており、このセッションは追加情報を表示します。また、これらのテーブルにリンクしたセッションを使用して追加情報フィールドを編集することも可能です。

| テーブル     | セッション                                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| tpctm100 | 契約 (tpctm1100m000)                                                                                  |
| tpctm102 | 契約履歴 (tpctm1102m000)                                                                                |
| tpctm110 | 契約ライン (tpctm1110m000)                                                                               |
| tpctm112 | 契約ライン履歴 (tpctm1112m000)                                                                             |
| tpest300 | 入札 (tpest3600m000)                                                                                  |
| tppdm700 | 契約成果物 (tppdm7100m100)                                                                               |
| tppdm710 | 契約成果物履歴 (tppdm7110m100)                                                                             |
| tppss610 | 計画 PRP 購買オーダー (材料) (tppss6110m000)<br>計画 PRP 購買オーダー (tppss6810m000) セッションを使用して、以下にリストしたセッションを開始します。 |
| tppss611 | 計画 PRP 購買オーダー (設備) (tppss6111m000)                                                                  |
| tppss612 | 計画 PRP 購買オーダー (外注) (tppss6112m000)                                                                  |
| tppss615 | 計画 PRP 倉庫オーダー (tppss6115m000)                                                                       |

追加情報は、1つのテーブルから別のテーブルに転送できます。以下はプロジェクトでサポートされている追加情報のフローです。

- 入札から契約または契約ライン  
入札 (tpest3100m000)-> 契約 (tpctm1100m000) または契約ライン (tpctm1110m000)
- 契約から契約成果物  
契約 (tpctm1100m000)-> 契約ライン (tpctm1110m000)-> 契約成果物 (tppdm7100m100)
- プロジェクトの計画 PRP オーダから購買管理オブジェクト  
計画 PRP 購買オーダ (tppss6810m000)-> 見積依頼 (tdpur8310m000)/ 見積依頼ライン (tdpur1502m000)-> 購買オーダ (tdpur4100m000)/ 購買オーダライン (tdpur4101m000)  
また、次のフローでは見積依頼ヘッダと見積依頼ラインのセッションをスキップできます。  
計画 PRP 購買オーダ (tppss6810m000)-> 購買オーダ (tdpur4100m000)/ 購買オーダライン (tdpur4101m000)
- プロジェクトの計画 PRP オーダから倉庫管理オブジェクト  
計画 PRP 倉庫オーダ (tppss6815m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)/ 入庫オーダライン (whinh2110m000)/ 出庫オーダライン (whinh2120m000)
- 計画 PRP 購買オーダから PRP 倉庫オーダ、およびその逆
  - 計画 PRP 購買オーダ (tppss6810m000)-> 計画 PRP 倉庫オーダ (tppss6815m000)
  - 計画 PRP 倉庫オーダ (tppss6815m000)-> 計画 PRP 購買オーダ (tppss6810m000)

### 入札(tpest3100m000)-> 契約(tpctm1100m000)または契約ライン(tpctm1110m000)

たとえば、入札と契約の両方において、[品質標準]の追加情報フィールドが定義されているとします。入札において、ISO9001 データが捕捉されます。[入札]を基に[契約]を作成する際、値が情報フィールドに一致するようコピーされます。作成される契約に、ISO9001 が表示されます。

契約ラインの追加情報は、契約や指定されたマニュアルといった開始オブジェクトから取得できます。追加情報は契約から契約ラインに転送されます。たとえば、[品質標準]フィールドは契約ラインでも利用可能となります。契約にリンクされているラインを作成する際、ISO9001 の値が契約ラインにコピーされます。

### 契約(tpctm1100m000)-> 契約ライン(tpctm1110m000)-> 契約成果物(tppdm7100m100)

追加情報は契約ラインから契約成果物にも転送されます。たとえば、[品質標準]フィールドは契約成果物でも利用可能となります。ISO9001 の値が契約ラインから契約成果物にコピーされます。その後、この値は転送済開始契約成果物から倉庫オーダラインに転送できます。

### 計画 PRP 購買オーダ(tppss6810m000)-> 見積依頼(tdpur8310m000)/ 見積依頼ライン(tdpur1502m000)-> 購買オーダ(tdpur4100m000)/ 購買オーダライン(tdpur4101m000)

契約条項などの追加情報は、プロジェクトの計画購買オーダから購買管理の見積依頼および購買オーダに転送されます。次に、購買伝票の追加情報が倉庫管理の入庫伝票および受領伝票に転送されます。

## 計画 PRP 倉庫オーダ (tpss6815m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)/ 入庫オーダライン (whinh2110m000)/ 出庫オーダライン (whinh2120m000)

入庫と出庫の両方のフローで、追加情報は計画倉庫オーダから倉庫管理の入庫または出庫オーダラインにコピーされます。

出庫フローで、納入タイプが [倉庫->取引先] および [プロジェクト->倉庫->取引先] の場合、[ペダ](#)によってリンクされた契約ラインの**販売先取引先**について定義された追加情報フィールドが使用されます。この取引先について追加情報フィールドが定義されていない場合は、[一般] レベルで定義されている追加情報フィールドが使用されます。

その他の納入タイプの場合は、[一般] レベルで定義されている追加情報フィールドが使用されます。

納入タイプ [プロジェクト->倉庫] は、以下のフローで使用されます。この納入タイプの場合は、[一般] レベルで定義されている追加情報フィールドが使用されます。

## 計画 PRP 購買オーダ (材料) (tpss6110m000)-> 計画 PRP 倉庫オーダ (tpss6815m000) またはその逆

計画 PRP 購買オーダ (tpss6810m000) セッションの[適切なメニュー](#)にある [計画倉庫オーダに変更] オプションを使用して計画購買オーダを計画倉庫オーダに変更すると、追加情報フィールド (存在する場合) が計画倉庫オーダにコピーされます。

生成される計画 PRP 倉庫オーダの納入タイプは、デフォルトで [倉庫->プロジェクト] に設定されます。これは、追加情報をコピーする場合に、計画 PRP 倉庫オーダについて定義された [一般] レベルが使用されることを意味します。

同様に、計画倉庫オーダを計画購買オーダに変更すると、追加情報フィールドが計画購買オーダにコピーされます。

生成される計画購買オーダに追加情報をコピーする場合、[購買元取引先] レベルが使用されます。購買元取引先のデフォルト値は、品目 (tcibd0501m000) セッションから取得されます。この取引先について追加情報フィールドが定義されていない場合は、[一般] レベルで定義されている追加情報フィールドが使用されます。

## 追加情報フィールド - 販売

次の表は、[追加情報フィールド](#)のリンク先にすることができる販売の各テーブルの概要を示しています。この表には、追加情報フィールドが表示される、対応するセッションも記載されています。

テーブル セッション

---

tdsls400 販売オーダ (tdsls4100m000)

---

tdsls401 ■ 販売オーダライン (tdsls4101m000)  
■ 販売オーダ計画納入ライン (tdsls4101m100)

---

tdsls308 販売発行ライン (tdsls3508m000)

---

tdsls315 販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000)

- tdsls316
- 販売発行ライン - 連続出荷スケジュール (tdsls3116m000)
  - 販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)

tdsls311 販売スケジュール (tdsls3111m000)

tdsls307 販売スケジュールライン (tdsls3107m000)

tdsls320 販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000)

- tdsls450
- 販売オーダ履歴 (tdsls4550m000)
  - 販売スケジュール履歴 (tdsls3560m000)

- tdsls451
- 販売オーダライン履歴 (tdsls4551m000)
  - 販売オーダライン履歴概要 (tdsls4551m200)
  - 販売スケジュールライン履歴 (tdsls3561m000)

## 注意

- 販売オーダ、販売発行、販売スケジュールを更新できる限り、販売オーダ、販売発行、販売スケジュールの追加情報フィールドも編集できます。
- 追加情報が販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls320) テーブルで入手できるのは、販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンになっている場合のみです。

## 追加情報の転送

追加情報は 1 つのテーブルから別のテーブルに転送できます。

追加情報の次のフローは販売でサポートされています。

- 販売オーダ
- 資材発行/出荷スケジュール
- 連続出荷スケジュール
- ピックアップシート

販売伝票に含まれる追加情報は、倉庫管理の出庫伝票と入庫伝票に転送されます。

## 追加情報の定義レベル

追加情報フィールドは、次の追加情報定義レベルで取得できます。

- [一般]
- [販売先取引先]

ある伝票から別の伝票に追加情報を転送する前に、ソースの伝票テーブルとターゲットの伝票テーブルの追加情報定義が検証されます。転送が行われるのは、フィールドフォーマットもフィールド名も同じである追加フィールドが追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションの両方のテーブル

に定義されている場合に限りです。[販売先取引先] 定義が該当する販売先取引先で利用可能な場合は、その定義が使用されます。利用できない場合は、[一般] 定義が使用されます。次を参照してください。追加情報定義レベル (ページ 12)。

## 販売オーダ

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッダフロー  
販売オーダ (tdsls4100m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)
- ラインフロー  
販売オーダライン (tdsls4101m000)-> (販売オーダ計画納入ライン (tdsls4101m100) )  
-> 出庫オーダライン (whinh2120m000)

## 資材発行/出荷スケジュール

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッダフロー  
販売発行ライン (tdsls3508m000)-> 販売スケジュール (tdsls3111m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)
- ラインフロー  
販売発行ライン詳細 (tdsls3515m000)-> 販売スケジュールライン (tdsls3107m000)-> 販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000)-> 出庫オーダライン (whinh2120m000)

## 連続出荷スケジュール

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッダフロー  
販売発行ライン - 連続出荷スケジュール (tdsls3116m000)-> 販売スケジュール (tdsls3111m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)
- ラインフロー  
販売発行ライン - 連続出荷スケジュール (tdsls3116m000)-> 販売スケジュールライン (tdsls3107m000)-> 販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000)-> 出庫オーダライン (whinh2120m000)

## ピックアップシート

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッダフロー  
販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)-> 販売スケジュール (tdsls3111m000)-> 倉庫オーダ (whinh2100m000)
- ラインフロー  
販売発行ライン詳細 - ピックアップシート (tdsls3116m100)-> 販売スケジュールライン (tdsls3107m000)-> 販売スケジュール計画倉庫オーダ (tdsls3520m000)-> 出庫オーダライン (whinh2120m000)

## 追加情報フィールド - 調達

次の表は、追加情報フィールドのリンク先にすることができる調達の各テーブルの概要を示しています。この表には、追加情報フィールドが表示される、対応するセッションも記載されています。

| テーブル     | セッション                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| tdpur200 | 購買要求 (tdpur2501m000)                                                                  |
| tdpur201 | 購買要求ライン (tdpur2502m000)<br>購買要求ラインの変換準備 (tdpur2502m100)                               |
| tdpur203 | 購買要求履歴 (tdpur2504m000)                                                                |
| tdpur204 | 購買要求ライン履歴 (tdpur2514m000)                                                             |
| tdpur100 | 見積依頼概要 (tdpur1501m000)                                                                |
| tdpur101 | 見積依頼ライン (tdpur1502m000)                                                               |
| tdpur106 | 見積依頼回答 (tdpur1506m000)<br>見積依頼回答 (tdpur1506m100)                                      |
| tdpur150 | 見積依頼履歴 (tdpur1550m000)                                                                |
| tdpur151 | 見積依頼ライン履歴 (tdpur1551m000)                                                             |
| tdpur156 | 見積依頼回答履歴 (tdpur1556m000)                                                              |
| tdpur400 | 購買オーダー (tdpur4100m000)<br>購買オーダー (tdpur4100m900)                                      |
| tdpur401 | 購買オーダーライン (tdpur4101m000)<br>購買オーダーライン詳細 (tdpur4101m200)<br>購買オーダーライン (tdpur4601m000) |
| tdpur450 | 購買スケジュール履歴 (tdpur3560m000)<br>購買オーダー履歴 (tdpur4550m000)                                |
| tdpur451 | 購買スケジュールライン履歴 (tdpur3561m000)<br>購買オーダーライン履歴 (tdpur4551m000)                          |

---

tdpur310 購買スケジュール (tdpur3110m000)  
購買スケジュール (tdpur3110m100)

---

tdpur311 購買スケジュールライン (tdpur3111m000)  
購買スケジュールライン (tdpur3111m200)

---

tdpur321 購買発行 (tdpur3121m000)  
購買発行ライン (tdpur3121m100)

---

tdpur322 購買発行ライン詳細 (tdpur3522m000)  
購買発行ライン - スケジュール別詳細 (tdpur3522m100)

---

## 追加情報の転送

追加情報は 1 つのテーブルから別のテーブルに転送できます。

調達では、次の購買伝票と関連フローに関する追加情報がサポートされています。

- 購買要求
- 見積依頼 (RFQ)
- 購買オーダー
- 購買スケジュール

購買伝票に含まれる追加情報は、倉庫管理の出庫伝票と入庫伝票に転送されます。

## 追加情報の定義レベル

追加情報フィールドは、次の追加情報定義レベルで取得できます。

- [一般]
- [購買元取引先]

ある伝票から別の伝票に追加情報を転送する前に、ソースの伝票テーブルとターゲットの伝票テーブルの追加情報定義が比較されます。データが転送されるのは、フィールドフォーマットもフィールド名も同じである追加フィールドが追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションの両方のテーブルに定義されている場合に限りです。[購買元取引先] 定義が該当する購買元取引先で利用可能な場合は、その定義が使用されます。利用できない場合は、[一般] 定義が使用されます。次を参照してください。追加情報定義レベル (ページ 12)。

## 購買要求

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッドフロー  
購買要求 (tdpur2501m000)-> 見積依頼概要 (tdpur1501m000)-> 購買オーダー (tdpur4100m000)-> 倉庫オーダー (whinh2100m000)

- ラインフロー  
購買要求ライン (tdpur2502m000)-> 見積依頼ライン (tdpur1502m000)-> 見積依頼回答 (tdpur1506m000)-> 購買オーダーライン (tdpur4101m000)-> 入庫オーダーライン (whinh2110m000)

#### 注意

要求からの見積依頼の生成は必須ではありません。要求を購買オーダーに直接変換することができます。

### 見積依頼 (RFQ)

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッドフロー  
購買要求 (tdpur2501m000)/計画 PRP 購買オーダーの転送 (tppss6230m000)/契約 (tpctm1100m000)-> 見積依頼概要 (tdpur1501m000)-> 購買オーダー (tdpur4100m000)-> 倉庫オーダー (whinh2100m000)
- ラインフロー  
購買要求ライン (tdpur2502m000)/計画 PRP 購買オーダーの転送 (tppss6230m000)/契約ライン (tpctm1110m000)-> 見積依頼ライン (tdpur1502m000)-> 見積依頼回答 (tdpur1506m000)-> 購買オーダーライン (tdpur4101m000)-> 入庫オーダーライン (whinh2110m000)

#### 注意

- 追加情報を含む見積依頼は、購買要求、計画 PRP オーダー、またはプロジェクト契約ラインから生成できます。
- また、マニュアルで見積依頼と見積依頼ラインを作成し、追加情報を指定することもできます。

### 購買オーダー

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッドフロー  
購買要求 (tdpur2501m000)/見積依頼概要 (tdpur1501m000)/計画 PRP 購買オーダーの転送 (tppss6230m000)/契約 (tpctm1100m000)-> 購買オーダー (tdpur4100m000)-> 倉庫オーダー (whinh2100m000)
- ラインフロー  
購買要求ライン (tdpur2502m000)/見積依頼ライン (tdpur1502m000)-> 見積依頼回答 (tdpur1506m000)/契約ライン (tpctm1110m000)-> 購買オーダーライン (tdpur4101m000)-> 入庫オーダーライン (whinh2110m000)

#### 注意

- 追加情報を含む購買オーダーは、購買要求、見積依頼、計画 PRP オーダー、またはプロジェクト契約ラインから生成できます。
- また、マニュアルで購買オーダーと購買オーダーラインを作成し、追加情報を指定することもできます。

## 購買 (プッシュ) スケジュール

追加情報は次のように転送されます。

- ヘッドフロー  
計画 PRP 購買オーダーの転送 (tpss6230m000)-> 購買スケジュール (tdpur3110m000)-> 購買発行 (tdpur3121m000)-> 倉庫オーダー (whinh2100m000) (ブランケット倉庫オーダー)
- ラインフロー  
購買スケジュールライン (tdpur3111m000)-> 購買発行ライン詳細 (tdpur3522m000)

## 備考

- 購買伝票がプロジェクトペギングされている場合、プロジェクト契約に含まれる追加情報は購買伝票ラインに転送されます。次を参照してください。プロジェクトペギングされた購買伝票の追加情報 (ページ 23)。
- 要求が見積依頼に変換された場合、見積依頼回答に関する追加情報は、見積依頼ラインではなく、要求ラインからコピーされます。この方法は、見積依頼ラインに適用される [一般] 定義レベルではなく、[購買元取引先] 定義レベルに基づいて追加情報フィールドを取得する場合に使用します。変換後に、新しい入札者または見積依頼ライン (回答) が追加された場合は、追加情報が見積依頼ラインからコピーされます。したがって、要求ラインからの追加情報のコピーは、要求の変換時にしか実行できません。
- 購買担当は、購買見積依頼回答の追加情報差異の出力 (tdpur1426m000) セッションを使用して、見積依頼回答の追加情報フィールドと関連する見積依頼ラインの追加情報フィールドの差異を出力できます。追加情報フィールドの消失や重複がある場合、購買担当はその情報をマニュアルで修正できます。

## プロジェクトペギングされた購買伝票の追加情報

顧客と請負業者間の標準、条件、および要件 (条項) は、追加情報としてプロジェクト契約ラインに規定できます。これらの条項は、関係する発注先や外注先にも影響を与えるため、サプライチェーンに転送することができます。

要求ライン、見積依頼ライン、購買オーダーラインなどの購買伝票ラインが自動的に生成またはマニュアルで作成されており、そのラインがプロジェクトペギングされている場合は、リンクされている (プロジェクト) 契約ラインに関して指定された追加情報が検証されます。プロジェクト契約ラインの追加フィールドの情報は、購買伝票ラインの追加フィールドに転送されます。ただし、追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションで両方のテーブルに同じ追加フィールド名が指定されている場合に限りです。

## 例

次の表は、購買伝票ラインに適用される追加情報フィールドを示します。

| 契約ライン | 購買オーダーライン | 関連フィールドの有無 |
|-------|-----------|------------|
| ADI1  | ADI1      | あり         |
| ADI2  | -         | なし         |
| -     | ADI3      | あり         |

追加情報が格納されており、追加情報を含むペグ配分も設定されているソースから購買伝票ラインが生成された場合は、ソース伝票の追加情報だけが、生成された購買伝票に転送されます。リンクされているペグ配分の追加情報は考慮されません。追加情報定義 (tcstl2100m000) セッションでソース伝票に関する追加情報定義が指定されていないが、そのソース伝票が追加情報を含むペグ配分にリンクされている場合は、ペグ配分に含まれる追加情報が購買伝票に転送されます。

## 例

1. ペグ配分を含む購買要求ラインをマニュアルで指定します。
2. ペグを指定すると、プロジェクト契約ラインの追加フィールドの情報が要求ラインの追加フィールドに転送されます。
3. 要求が見積依頼に変換されます。
4. 要求ラインの追加情報が見積依頼ライン/回答ラインに転送されます。リンクされているペグ配分の追加情報は要求ラインにすでに含まれているため、検証されません。購買担当が要求ラインの追加情報フィールドに加えた修正も見積依頼ライン/回答ラインに転送されます。

購買伝票ラインのペグ配分でプロジェクトペグを削除または修正しても、追加情報フィールドが削除されたり更新されたりすることはありません。購買担当は、データの消失や重複がないかを追加情報で確認し、ある場合はマニュアルで修正する必要があります。また、購買担当は、購買伝票ラインの追加情報フィールドとプロジェクト契約ラインの追加情報フィールドの差異を表示するためのレポートを生成することもできます。内容が一致している追加情報フィールドは表示されません。

購買伝票タイプに応じて、購買担当は次のセッションを使用して、追加情報を比較し、差異を出力することができます。

- 購買要求の追加情報差異の出力 (tdpur2406m000)
- 購買見積依頼の追加情報差異の出力 (tdpur1421m000)
- 購買見積依頼回答の追加情報差異の出力 (tdpur1426m000)
- 購買スケジュールの追加情報差異の出力 (tdpur3411m100)
- 購買オーダーの追加情報差異の出力 (tdpur4410m000)

## 注意

- 追加情報を比較できるのは、購買伝票にペグ配分がリンクされている場合に限りです。ペグ配分に含まれる各ペグが伝票ラインと比較されます。したがって、1つの伝票ラインをレポート上で複数回表示できます。
- 別々のプロジェクト契約ラインに関連付けられた複数のペグが1つの購買伝票ラインにリンクされている場合は、すべての契約ラインの条項(追加情報)がその購買伝票ラインに転

送されます。一致しない条項 (フィールド名は同じであるが、フィールド値が異なる追加情報) は、情報の消失につながります。計画グループを設定し、共通情報の [プロジェクトペギング] で例外を統合することで、それぞれのプロジェクトペグの条項の不一致を回避できます。

## 倉庫管理の追加情報フィールド

追加情報フィールドをリンクできる倉庫管理のデータベーステーブルを次の表に示します。この表には、追加情報フィールドが表示されるセッションも記載されています。

| テーブル     | セッション                       |
|----------|-----------------------------|
| whinh200 | 倉庫オーダ (whinh2100m000)       |
| whinh250 | 倉庫オーダ履歴 (whinh2550m000)     |
|          | 出庫                          |
| whinh220 | 出庫オーダライン (whinh2120m000)    |
| whinh270 | 出庫オーダライン履歴 (whinh2570m000)  |
| whinh430 | 出荷 (whinh4130m000)          |
| whinh450 | 出荷履歴 (whinh4550s000)        |
| whinh431 | 出荷 - ライン (whinh4131m000)    |
| whinh451 | 出荷ライン履歴 (whinh4551s000)     |
|          | 入庫                          |
| whinh210 | 入庫オーダライン (whinh2110m000)    |
| whinh260 | 入庫オーダライン履歴 (whinh2560m000)  |
| whinh312 | 入庫ライン (whinh3512m100)       |
|          | 入庫ライン (whinh3112s000)       |
| whinh362 | 入庫ライン履歴 (whinh3562m000)     |
|          | 扱い単位                        |
| whwmd530 | 扱い単位 (whwmd5130m000)        |
| whwmd531 | 扱い単位バージョン履歴 (whwmd5531m000) |

対応するセッションの詳細セッションおよび拡張追加情報 (tcstl2110m000) セッションで、追加情報フィールドの情報を指定または修正できます。

## 追加情報定義レベル

次の追加情報定義レベルに対して、追加情報フィールドを定義できます。

- 一般
- 販売先または購買元取引先

## 追加情報の転送

追加フィールドの情報は、その他のセッションの追加情報フィールドに転送できます。たとえば、倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションの追加情報フィールド [ConsumptionPoint] に値を指定すると、この値は出荷 (whinh4130m000) セッションの追加情報フィールド [ConsumptionPoint] に転送されます。

倉庫管理では、次の追加情報フローがサポートされています。

- ヘッダのフロー出庫  
販売管理またはプロジェクトオブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 倉庫オーダ (whinh2100m000) -> 出荷 (whinh4130m000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)
- ラインのフロー出庫  
販売管理またはプロジェクトオブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 出庫オーダライン (whinh2120m000) -> 出荷 - ライン (whinh4131m000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)
- ヘッダのフロー入庫  
プロジェクトまたは購買管理オブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 倉庫オーダ (whinh2100m000)
- ラインのフロー入庫  
プロジェクトまたは購買管理オブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 入庫オーダライン (whinh2110m000) -> 入庫ライン (whinh3512m100) または入庫ライン (whinh3112s000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)

### 注意

情報を転送できるのは、関係するすべてのテーブルが同一の追加フィールドフォーマットとフィールド名を含んでいる場合のみです。たとえば、ヘッダのフローで「ConsumptionPoint」という名前で文字列フォーマットの追加情報フィールドの値の転送を有効にするには、whinh200、whinh430 および whwmd530 テーブルが「ConsumptionPoint」という名前の文字列フィールドを含んでいる必要があります。

**ヘッダのフロー出庫: 販売管理またはプロジェクトオブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 倉庫オーダ (whinh2100m000) -> 出荷 (whinh4130m000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)**

倉庫オーダヘッダ上の追加情報は、販売スケジュールヘッダなどの発生元オブジェクトから取得することも、マニュアルで指定することもできます。この追加情報は、倉庫オーダヘッダから出荷ヘッダに転送されます。

転送処理中に追加情報が上書きされることはありません。このルールは個々のフィールドのレベルに適用されます。たとえば、2つの倉庫オーダがあるとしします。最初の倉庫オーダの追加フィールドに、1の値が指定されています。2番目の倉庫オーダの追加フィールドに、2の値が指定されています。どちらの倉庫オーダでも、同じ出荷が生成されます。出荷ヘッダには、最初の倉庫オー

ダから追加フィールド 1 の値が表示され、2 番目の倉庫オーダから追加フィールド 2 に値が表示されます。

いくつかのシナリオを次の表に示します。「倉庫オーダ 1」は、最初に出荷にリンクされるオーダです。

| 倉庫オーダ 1   |           | 倉庫オーダ 2   |           | 出荷        |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 | 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 | 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 |
| サンプル_x    | サンプル_y    | サンプル_z    |           | サンプル_x    | サンプル_y    |
|           |           | サンプル_q    | サンプル_r    | サンプル_q    | サンプル_r    |
| サンプル_s    |           | サンプル_q    | サンプル_r    | サンプル_s    | サンプル_r    |

扱い単位が使用され、ピッキングリストラインの確認時に出荷ヘッダに自動的に作成される場合、追加情報を出荷ヘッダから作成済の扱い単位に転送することができます。

**ラインのフロー出庫: 販売管理またはプロジェクトオブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 出庫オーダライン (whinh2120m000) -> 出荷 - ライン (whinh4131m000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)**

出荷オーダライン上の追加情報は、販売スケジュールラインなどの開始オブジェクトから取得するか、またはマニュアル倉庫オーダタイプの場合はマニュアルで指定することができます。この追加情報は、出庫オーダラインから出荷ラインに転送されます。

在庫にある扱い単位が出庫処理および出荷処理で使用されている場合は、マニュアルで指定された追加情報がこれらの扱い単位にすでに存在する可能性があります。出荷ラインの追加情報は、扱い単位の追加情報とマージされます。

扱い単位にすでに存在する追加情報が出荷ラインの追加情報で上書きされることはありません。このルールは個々のフィールドのレベルに適用されます。いくつかのシナリオを表に示します。

| 出荷ライン     |           | マージ前の扱い単位 |           | マージ後の扱い単位 |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 | 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 | 内容フィールド 1 | 内容フィールド 2 |
| サンプル_x    | サンプル_y    |           |           | サンプル_x    | サンプル_y    |
| サンプル_x    | サンプル_y    | サンプル_q    |           | サンプル_q    | サンプル_y    |
| サンプル_x    | サンプル_y    | サンプル_q    | サンプル_r    | サンプル_q    | サンプル_r    |

### ヘッダのフロー入庫: プロジェクトまたは購買管理オブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 倉庫オーダ (whinh2100m000)

倉庫オーダヘッダ上の追加情報は、購買オーダや購買スケジュールヘッダなどの発生元オブジェクトから取得することも、マニュアルで指定することもできます。この追加情報フィールドの内容は、倉庫オーダヘッダから入庫オーダライン、入庫ライン、または扱い単位に転送されません。

### ラインのフロー入庫: プロジェクトまたは購買管理オブジェクトから発生、またはマニュアル入力 --> 入庫オーダライン (whinh2110m000) -> 入庫ライン (whinh3112s000) -> 扱い単位 (whwmd5130m000)

入庫オーダラインの追加情報は、発生元購買オーダラインまたは購買スケジュールから取得されるか、マニュアルで入力されます。この追加情報は、入庫オーダラインから入庫ラインに転送されます。これは、オーダラインが入庫にリンクされたときに実行されます。

扱い単位が使用される場合、追加情報を入庫ラインから、扱い単位 (whwmd5130m000) セッションでリンクまたは生成された扱い単位に転送することができます。

扱い単位は、入庫オーダラインが入庫ラインにリンクされる前に、入庫オーダラインにリンクできます。この扱い単位には、追加情報を含めることができます。追加情報も含む入庫ラインに扱い単位がリンクされている場合、入庫オーダライン扱い単位の追加情報は、入庫ラインの追加情報とマージされます。扱い単位の追加情報は、入庫ラインの追加情報で上書きされません。

### ラベルの出力 (whwmd5430m100)

ラベルが出力される扱い単位、出庫オーダライン、または出荷ラインに追加情報フィールドが存在する場合、追加情報フィールドの記述も出力されます。

### 品質との統合

品質で作成され倉庫検査にリンクされた入庫オーダ検査の場合、追加情報フィールドは、関連する倉庫管理入庫オーダラインから取得されます。

品質で作成された出庫オーダ検査の場合、追加情報フィールドは出庫オーダラインから取得されます。

倉庫管理検査では、追加情報フィールドが利用できません。



## 適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

## 発注先

次を参照してください: 購買元取引先 (ページ 32)

## 追加情報フィールド

さまざまなセッションに追加できるさまざまなフィールドフォーマットのユーザ定義フィールド。ユーザはこれらのフィールドを編集できます。これらのフィールドの内容には機能ロジックが関連付けられていません。

追加情報フィールドはデータベーステーブルにリンクできます。テーブルにリンクすると、そのデータベーステーブルに対応するセッションにフィールドが表示されます。たとえば、whinh200 テーブルに定義されているフィールドは倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションの追加フィールドとして表示されます。

追加情報フィールドの内容をデータベースのテーブル間でやり取りできます。たとえば、あるユーザが倉庫オーダー (whinh2100m000) セッションの追加情報フィールド A に指定した情報は、出荷 (whinh4130m000) セッションの追加情報フィールドに転送されます。このため、whinh200 テーブルと whinh430 テーブル (whinh430 は出荷 (whinh4130m000) セッションに対応) には、フィールドフォーマットが同一でフィールド名が A である追加情報フィールドが存在する必要があります。

次を参照してください: 追加情報フィールド (ページ 7)

## 見積依頼回答

見積依頼への回答。入札が記載された 1 つ以上の回答ラインを含んでいます。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

## 計画グループ

計画グループは、プロジェクト固有の需要および供給の計画の分離のために使用されます。統合ルールと原価転送ルールは計画グループレベルで定義でき、計画グループ内のプロジェクトペギング品目や、他の計画グループの供給計画処理を管理できます。

### 注意

プロジェクトは 1 つの計画グループにのみ割り当てることができます。

## 購買元取引先

商品またはサービスのオーダ先の取引先。これは通常発注先の販売部署になります。この定義には、デフォルト価格と値引合意、購買オーダのデフォルト、受渡条件、関連する出荷元と請求元の取引先が含まれます。

同義語: 発注先

## 販売先取引先

一般的には顧客の購買部署。つまり、企業が扱う商品またはサービスに対してオーダを出す取引先、企業がメンテナンスを請け負う設備機器の所有者、または企業が実行するプロジェクトの受益者を意味します。

販売先取引先との契約には次のような事柄が含まれます。

- 別途取り決めない限り適用される、価格と値引についての合意内容
- 別途取り決めない限り適用される、販売オーダについての合意内容
- 受渡条件
- 関連する出荷先取引先および請求先取引先

## ペグ

プロジェクトと予算、要素と活動の組合せ。プロジェクトの原価、需要、供給の識別に使用されます。

## ブランクセット倉庫オーダ

プッシュスケジュールまたは製造スケジュールの作成時に生成される、次のような倉庫オーダ

- 位置番号および連番がゼロ
- 品目が購買または製造スケジュールで定義済
- オーダ数量が購買契約ラインで定義済の数量と同じ。製造スケジュールに基づいている場合、ブランクセットオーダのオーダ数量は、作業リスト (tirpt4602m000) セッションの [転送数量] フィールドで指定されている数量に基づきます。
- 計画納期および計画入庫日が空
- ロット選択が「任意」として定義済

## 見積依頼 (RFQ) ライン

見積依頼 (RFQ) において、所要数量、納入時刻、納入倉庫などの品目詳細を含むライン

この品目ラインが入札者に送られます。入札者は各品目について個別に回答できるだけでなく、所要品目の代替品目を提案できます。

## ビジネスオブジェクト文書 (BOD)

企業または企業アプリケーション間でデータの交換に使用する XML メッセージ。BOD はメッセージの内容を識別する名詞、および文書で実行するアクションを識別する動詞で構成されています。名詞と動詞の一意の組合せによって、BOD の名前が形成されます。たとえば、名詞「ReceiveDelivery」と動詞「Sync」の組合せは、「BOD SyncReceiveDelivery」になります。

## Infor ION

イベント主導および XML ベースのメッセージングエンジン。これは標準のメッセージバスです。メッセージバスとそのメッセージ標準は、他のアプリケーションモジュールに安全な方法でメッセージを転送するインフラストラクチャを提供します。



---

# 索引

プロジェクト  
    追加情報フィールド, 15  
テーブル  
    追加情報フィールド, 7, 11  
適切なメニュー, 31  
定義  
    追加情報フィールド, 11  
発注先, 32  
追加情報フィールド, 31  
    テーブル, 7, 11, 12  
    プロジェクト, 15  
    プロジェクトペギングされた伝票, 23  
    倉庫管理, 25  
    調達, 20  
    定義, 11  
    定義レベル, 12  
    販売, 17  
定義レベル  
    追加情報フィールド, 12  
販売  
    追加情報フィールド, 17  
調達  
    追加情報フィールド, 20, 23  
倉庫管理  
    追加情報フィールド, 25  
見積依頼回答, 31  
計画グループ, 32  
購買元取引先, 32  
販売先取引先, 32  
ペグ, 32  
ブランクセット倉庫オーダー, 32  
見積依頼 (RFQ) ライン, 32  
ビジネスオブジェクト文書 (BOD), 33  
Infor ION, 33

---

---

---